

DOJIN

R18

成人向け

18歳未満の
購入・閲覧禁止

へし切長谷部に忍び寄るモブの魔の手!!
主は果たして長谷部を守り切れるのか!!

?!
...
?!

審神者[♂]
へし切長谷部

癒え
主様!!

審神者会議
個人面談中

いやいや
素晴らしいな

君の
ところの
へし切は

—はい

錬度も
見かけの美しさも
格別じゃあないか

いやあ…
そんな

正直！
とても
嬉しいです

私の
誇りなんです

主……

長谷部くんは

謙遜するな
君のような優秀な
審神者が部下で
私も鼻が高いよ

俺の主は
とても優しくて

俺たち
刀剣を真っ直ぐ
見てくださる
素晴らしい
御方だ——

——一生
お仕えしたい

たとえ
この身が
折れようと……

……ところで

えっ……

それは
ちよつと

俺は
構いませんよ

君のその
素晴らしい
へし切——

!!

長谷部くん——

少々拝借して
錬度の高さを
確かめてみたいの
だ……

大丈夫

俺の刀としての
錬度の高さを
見せつけてやれば
いいだけのことです

もし今以上に
あの御方に主が
気に入られれば

主だって今後
優位に仕事を
進められる
でしょう？

—お任せあれ

必ずや
最良の結果を

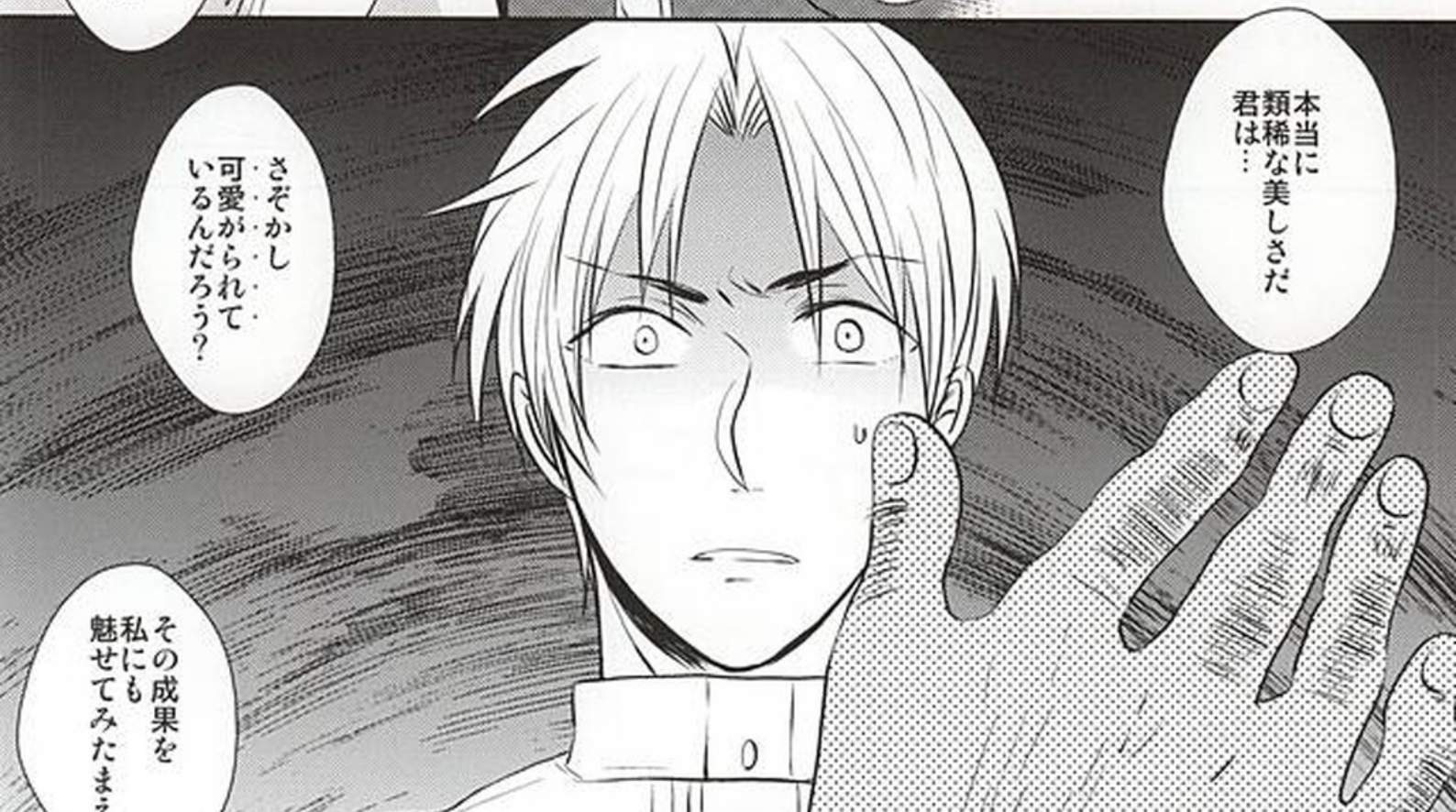
主に—

—分かった

でも
無茶だけは
しないでくれよ

はい！

主命とあらば



この豚が!!

クソツッ…
クソツッ…

クソツ…



よく
舐けられている

ほれ
もう少し
舌を動かせ



上手
上手

さすが
錬度の高い
へし切は違うな



調子に
乗るなよ
人間風情が!!

たとえ貴様が
主の上司で
あろうと—

俺にとつては
ただの畜生にしか
過ぎんのだぞ!

同じ人間で
あろうと
俺が従うのは

主だけだ!







長谷部くん

長谷部くんッ!!

すまなかったね…!

主…!

大丈夫
だったかい?!

私の上司とは言え
知らない人と
二人きりは
不安だったろう?

—大丈夫
ですよ

俺の錬度は
素晴らしく
お褒め頂き
ましたよ

やはり刀として
錬度を見られた
だけでした

今後
きっと主にとって
いい方向に
事は進むはずですよ

さ、
主帰りましょう

そう言えば
今日の料理当番ですが
偶然歌仙と燭台切
だったんです

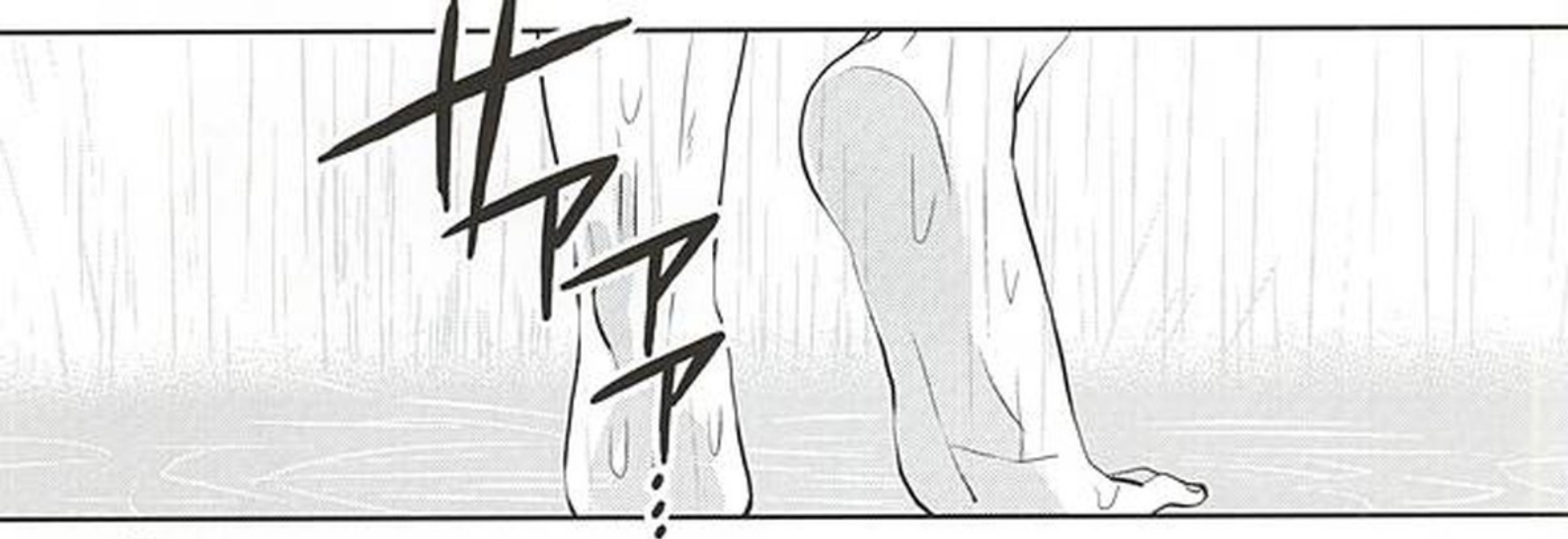
きつと美味しい
夕餉が出来て
いますよ

……

……長谷部くん

……

……



——失礼するよ
長谷部くん

!

主——?!

…どうも
様子がおかしいと
思ってた来てみたら

——一体…

何を
されたんだ…

それは

一体
どういう
なんだ？



主はい

…落ち着きたかい?



長谷部くん…



主——大丈夫です

俺は 丈夫ですから?



駄目だよ…!
まだ休んで—

い?

なんと
詫びれば
いいのか……

謝らないで
ください
主……!

しかし——

少し考えれば
上司の言葉の裏くらい
読めたはずなのに……

いえ
俺も迂闊
だったんです

主……
世の定めとして
因果応報は
必ずありますから

お気に
なさらず——

——それより

主が俺のことを
こんなにか
心配してくださって
いると思うと
とても幸せです

長谷部くん……

主——
ひとつだけ

長谷部くん
ありがとう
……

お願いが
あります

俺の
手入れをして
頂けませんか？

—んっ…

んん…♡

♡…んん…♡

んん♡

—んん♡

んん…♡

主—んん…♡

♡…んん…♡

♡…んん…♡

♡…んん…♡

♡…んん…♡

♡…んん…♡

♡…んん…♡









たくさん
出したねえ...
長谷部くん♡

主...お恥ずかしいです♡



— 気にも
いなくても
いいんだよ

本当に
長谷部くんは
健気だなあ...♡



— 主...

長谷部くん
カワイイ...♡

...っは



〜♡

〜♡

〜♡

〜♡

〜♡

〜♡





今日も
審神者会議に
同席してもらえるのは
嬉しいけれど…

まだ
あれから
日が…

御心配なく
♡

へし切長谷部は
そんなことで折れる
刀ではありませんから

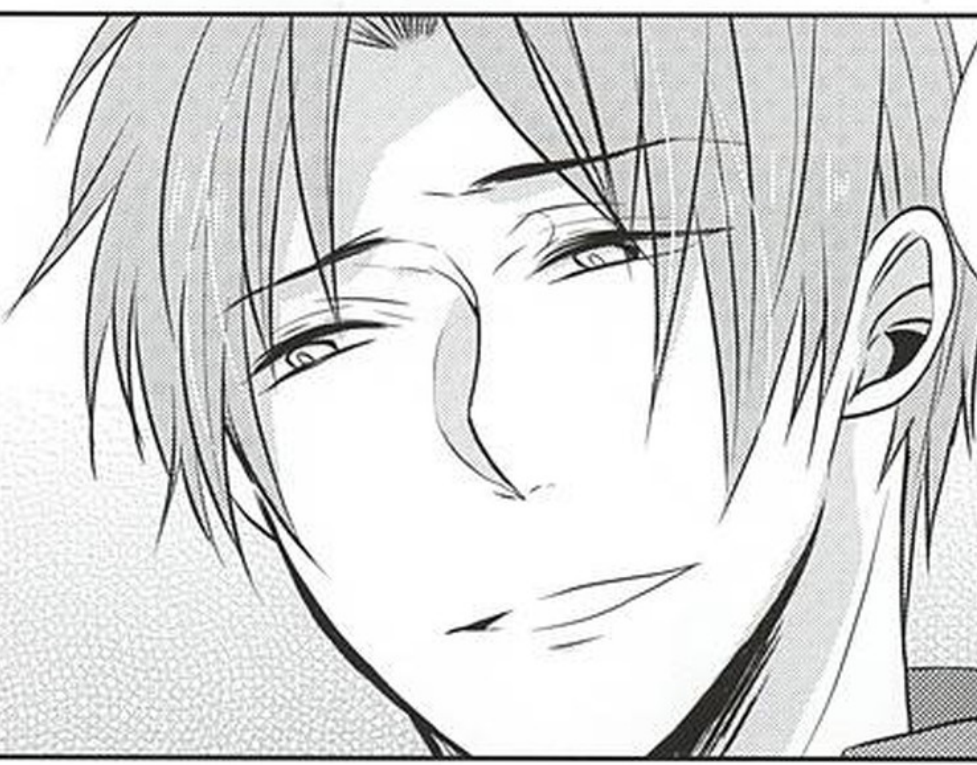
手入れも
きちんとして
頂きましたし
…ね♡

長谷部くん…♡

—って


あれ？
あの人
上司、今日は
来ないみたいだ

♡




風邪でも
引いたのかな？
かえって
都合が良いけど…

— そうですね



この世は
因果応報
ですから—

特に



触らぬ神に
祟りなし

— って、ね♡

この世須く、因果応報。

触らぬ神に祟りなし

癒し姫 主様

お任せあれ。上手くやってみせますよ

あの方に気に入られたら

主だって有利にことを進められるでしょう？

ああっ…長谷部くん、長谷部くん…

——こんな…こんなに穢れてしまっ